

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年2月10日
【四半期会計期間】	第34期第3四半期（自平成26年10月1日至平成26年12月31日）
【会社名】	ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社
【英訳名】	WILSON LEARNING WORLDWIDE INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長CEO 森 捷三
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木一丁目10番6号
【電話番号】	03(6381)0234
【事務連絡者氏名】	執行役員グローバルコーポレート本部 本部長 梶本 知大
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木一丁目10番6号
【電話番号】	03(6381)0234
【事務連絡者氏名】	執行役員グローバルコーポレート本部 本部長 梶本 知大
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第33期 第3四半期 連結累計期間	第34期 第3四半期 連結累計期間	第33期
会計期間	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成26年 4月1日 至平成26年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日
売上高 (千円)	2,236,218	2,439,861	3,028,129
経常利益 (千円)	116,997	132,633	205,224
四半期(当期)純利益 (千円)	103,204	115,722	239,956
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	153,428	228,380	291,531
純資産額 (千円)	1,803,043	2,169,476	1,941,127
総資産額 (千円)	2,827,190	3,122,707	2,978,179
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	20.04	22.45	46.59
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	63.3	69.2	64.7

回次	第33期 第3四半期 連結会計期間	第34期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日	自平成26年 10月1日 至平成26年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	3.63	2.48

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第33期第3四半期連結累計期間、第34期第3四半期連結累計期間及び第33期の潜在株式調整後1株当たり当期及び四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績

業績の概要は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間は海外事業は順調に推移し、特に北米、欧州、アジア・パシフィックで好業績をあげることが出来ました。

日本国内事業は個別企業に対する開発コストが増加し、営業赤字が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高24億3千9百万円（対前年同期比9.1%増）、営業利益7千4百万円（対前年同期比64.9%増）、経常利益1億3千2百万円（対前年同期比13.4%増）となっております。また四半期純利益は1億1千5百万円（対前年同期比12.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(イ) 国内

当第3四半期連結累計期間は、金融機関など弊社がサービスを提供する主要な業界で、大口の契約獲得に成功し、売上高は前年同期を上回りました。

一方、九州地区の子会社の解散に伴い、営業赤字が増加いたしました。

この結果、売上高8億8千3百万円（対前年同期比4.1%増）、営業損失1億9百万円（対前年同期比26.8%増）となりました。

(ロ) 北米

売上は既存顧客に加えて、新規顧客の案件を獲得し前年同期を上回ることが出来、増収増益となりました。

この結果、売上高13億9千7百万円（対前年同期比15.6%増）、営業利益1億4百万円（対前年同期比38.4%増）となりました。

(ハ) 欧州

イギリス及びフランスにおいて既存顧客に加えて、新規でグローバルの案件を獲得し売上は増加しましたが、コストが増加し、増収減益となりました。

この結果、売上高3億6千2百万円（対前年同期比10.3%増）、営業利益1千4百万円（対前年同期比13.4%減）となりました。

(ニ) 中国

当第1四半期において社長が退任したことにより売上に影響が表れ、減収減益となりました。なお、10月より後任の社長は就任いたしております。

この結果、売上高1億8千6百万円（対前年同期比6.3%減）、営業利益2千4百万円（対前年同期比42.0%減）となりました。

(ホ) アジア・パシフィック

アジア地区はエージェントからの収入が引き続き増加し、オーストラリア、インドともに既存顧客の案件に加えて、新規顧客の案件を獲得し、増収増益となりました。

この結果、売上高1億5千1百万円（対前年同期比48.6%増）、営業利益2千5百万円（前第3四半期連結累計期間は9百万円の営業損失）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の金額は9千2百万円となっております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,230,720
計	17,230,720

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年2月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,154,580	5,154,580	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	5,154,580	5,154,580	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年10月1日～ 平成26年12月31日	-	5,154,580	-	722,698	-	557,452

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,150,900	51,509	-
単元未満株式	普通株式 3,280	-	-
発行済株式総数	5,154,580	-	-
総株主の議決権	-	51,509	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、200株(議決権の数2個)含まれております。

【自己株式等】

平成26年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社	東京都港区六本木1丁目10-6	400	-	400	0.00
計	-	400	-	400	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,584,187	1,838,012
受取手形及び売掛金	615,993	511,928
たな卸資産	32,962	41,936
繰延税金資産	12,123	14,199
その他	59,480	82,208
貸倒引当金	29,863	37,792
流動資産合計	2,274,882	2,450,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	123,118	113,983
工具、器具及び備品(純額)	17,830	13,238
土地	60,725	60,725
リース資産(純額)	12,419	11,113
有形固定資産合計	214,092	199,059
無形固定資産		
ソフトウェア	2,716	2,546
リース資産	3,873	-
その他	785	567
無形固定資産合計	7,374	3,113
投資その他の資産		
投資有価証券	181,435	152,382
敷金及び保証金	98,915	98,508
長期貸付金	19,824	23,227
退職給付に係る資産	86,807	82,670
繰延税金資産	91,373	107,022
その他	40,192	42,950
貸倒引当金	36,715	36,715
投資その他の資産合計	481,831	470,044
固定資産合計	703,297	672,216
資産合計	2,978,179	3,122,707

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	163,542	184,282
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	49,500	49,500
1年内返済予定の長期借入金	75,500	59,531
未払金	7,982	10,045
未払消費税等	6,364	22,999
リース債務	11,212	6,781
未払法人税等	13,220	1,107
賞与引当金	18,408	15,776
繰延税金負債	664	-
未払費用	130,895	159,417
前受金	143,561	132,756
その他	17,315	18,197
流動負債合計	738,163	760,391
固定負債		
社債	100,500	51,000
長期借入金	66,168	28,296
リース債務	7,597	6,209
繰延税金負債	52,391	50,317
退職給付に係る負債	5,607	3,602
資産除去債務	51,330	52,938
その他	15,296	478
固定負債合計	298,889	192,840
負債合計	1,037,052	953,231
純資産の部		
株主資本		
資本金	722,698	722,698
資本剰余金	557,452	557,452
利益剰余金	401,222	516,943
自己株式	175	205
株主資本合計	1,681,197	1,796,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,575	11,915
為替換算調整勘定	230,431	352,259
その他の包括利益累計額合計	246,006	364,174
少数株主持分	13,924	8,414
純資産合計	1,941,127	2,169,476
負債純資産合計	2,978,179	3,122,707

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,236,218	2,439,861
売上原価	738,912	776,251
売上総利益	1,497,306	1,663,610
販売費及び一般管理費	1,452,433	1,589,602
営業利益	44,873	74,008
営業外収益		
受取利息	1,214	4,192
受取配当金	1,000	1,000
受取使用料	9,000	-
為替差益	56,462	27,524
賃貸料収入	912	757
投資事業組合運用益	10,876	11,730
持分法による投資利益	2,040	17,566
雑収入	1,344	1,303
営業外収益合計	82,848	64,072
営業外費用		
支払利息	4,321	4,101
社債発行費	2,938	-
減価償却費	360	-
賃貸収入原価	912	757
雑損失	2,193	589
営業外費用合計	10,724	5,447
経常利益	116,997	132,633
特別利益		
投資有価証券売却益	1,531	-
受取和解金	5,600	-
特別利益合計	7,131	-
税金等調整前四半期純利益	124,128	132,633
法人税、住民税及び事業税	25,194	23,136
法人税等調整額	4,068	715
法人税等合計	21,126	22,421
少数株主損益調整前四半期純利益	103,002	110,212
少数株主損失()	202	5,510
四半期純利益	103,204	115,722

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	103,002	110,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	261	3,660
為替換算調整勘定	50,165	121,828
その他の包括利益合計	50,426	118,168
四半期包括利益	153,428	228,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,630	233,890
少数株主に係る四半期包括利益	202	5,510

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
減価償却費	35,531千円	30,649千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内	北米	欧州	中国	アジア・パシフィック	合計
売上高						
外部顧客への売上高	711,608	974,575	284,073	170,880	95,082	2,236,218
セグメント間の内部売上高又は振替高	137,281	233,761	44,976	27,667	7,138	450,823
計	848,889	1,208,336	329,049	198,547	102,220	2,687,041
セグメント利益又は損失()	86,684	75,193	16,772	41,803	9,426	37,658

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	37,658
セグメント間取引消去	7,215
四半期連結損益計算書の営業利益	44,873

当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	国内	北米	欧州	中国	アジア・パシフィック	合計
売上高						
外部顧客への売上高	732,924	1,140,966	312,094	152,739	101,138	2,439,861
セグメント間の内部売上高又は振替高	150,469	256,208	50,876	33,289	50,773	541,615
計	883,393	1,397,174	362,970	186,028	151,911	2,981,476
セグメント利益又は損失（ ）	109,958	104,103	14,523	24,227	25,719	58,614

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	58,614
セグメント間取引消去	15,394
四半期連結損益計算書の営業利益	74,008

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）
1株当たり四半期純利益金額	20円04銭	22円45銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	103,204	115,722
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	103,204	115,722
普通株式の期中平均株式数（株）	5,148,966	5,154,133

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 2月10日

ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 浅野 俊治 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山口 直志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社及び連結子会社の平成26年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。